

ぽけっと 関鉄 Pocket

2005
Vol.8

守谷駅から高速バスで行く大子

奥久慈の 自然と味覚を満喫

つくばセンター～水戸駅

水戸徳川家ゆかりの街に行く

つくばセンター～真壁・岩瀬

蔵造りの街並みを歩く真壁

守谷駅西回～岩井・猿島

将門終焉の地を訪ねて

快速列車
運行開始

常総線快速

停車駅から行ける

お薦めスポット

～石下・下妻・下館～



守谷駅から高速バスで行く大子 奥久慈の自然と味覚を満喫

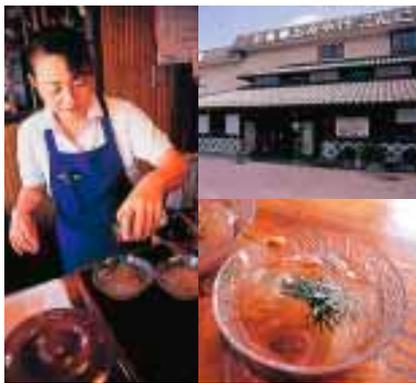
高速路線バス活用
～奥久慈エリア編～



秋葉原からつくばエクスプレス(TX)で32分、守谷駅西口から常陸大宮・大子に向けて新規路線高速バス(奥久慈号)が開通しました。茨城県の最北部に位置する大子町は、清流久慈川を懐に県内最高峰を誇る八溝山を背景とする豊かな自然に恵まれた環境にあります。日本三名瀑のひとつ袋田の滝に代表される名所や奥久慈温泉郷の湯で心身をリフレッシュ。こんなにややゆばをはじめとする特産品も多い地です。高速バスは守谷駅西口を出ると、常磐高速道路(谷和原)・Cから北上し、那珂・Cを降りると国道118号線を通り常陸大宮市を経て大子町に至ります。今、秋の風情漂う奥久慈に是非お出かけ下さい。

奥久慈はこんなにやく発祥地、 こんなにやく関所

奥久慈の名産の一つに「こんなにやく」があります。水戸藩保内郷(奥久慈地方)在住の中島藤衛門が「こんなにやく」の製法を考案し、生産を高めて原料を専売品にして全国に広めたといわれます。この「こんなにやく」関所では工場直売の自家製「こんなにやく」を豊富に提供しています。店内ではとろろ(300円)、みそおでん(2本300円)、冷やし味噌田楽も味わえ、隣接する遊遊館(こんなにやく)では「こんなにやく」の歴史や製造工程が見学できます。(思い出浪漫館下車1.5km、8時～17時30分不定休 ☎02957(2)5311)



できたてのゆばを召し上がれ、 湯葉吉

今や、精進料理には欠かせない素材のゆば。豆乳を加熱し、表面にできた薄い膜をすくい取ったものがゆばです。この湯葉吉は、国産大豆と清らかな水で造った質の高いゆばを製造直売しています。生ゆば(800円)、巻ゆば(1000円)、寄せ豆腐(200円)と自慢の製品が並ぶ店内からは、製造工程が見学でき、豆乳の試飲ができます。(思い出浪漫館下車1.5km、9時～17時、不定休 ☎02957(2)1711)

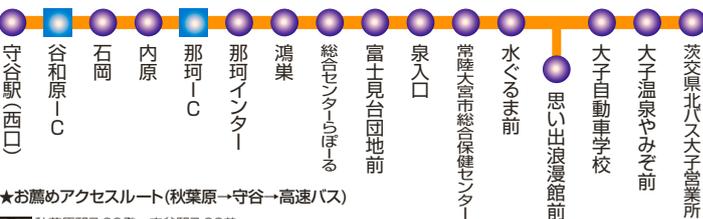


日帰り入浴なら「ここ」 関所の湯

袋田の自然の中でゆつくり温泉を楽しむなら関所の湯がお薦め。民芸調の重厚感に満ちたロビーに入ると、ユニークな袋田人口ホットがお出迎え。泉質はナトリウム硫酸塩、塩化物泉で、露天風呂、桧桶風呂、内風呂、サウナが完備されています。館内では「こんなにやく」ゆば八溝そば、奥久慈しゃもなど郷土料理も味わえます。(思い出浪漫館下車1.5km、9時30分～20時(土日・祝日は21時)、大人700円、小人350円(土日・祝日は大人1000円、小人500円)、17時以降は大人500円、小人250円、月末木曜日休館 ☎02957(9)1126)



運行系統略図



★お薦めアクセスルート(秋葉原→守谷→高速バス)

行き 秋葉原駅7:00発→守谷駅7:33着
→高速バスのりかえ7:50発→大子自動車学校10:12着

帰り 大子自動車学校前15:17発→守谷駅17:40着
→TXのりかえ17:49発→秋葉原駅18:24着(土休日は18:33)

※高速バスは茨城交通との共同運行です。交通状況により遅延の場合があります。遅延等で発生した損害等につきましては運行会社はその責任を負い兼ねますので予めご了承下さい。時刻については変更になる場合がありますので、ご利用前にご確認ください。

交通MEMO

TX秋葉原～守谷(800円)
守谷駅西口～思い出浪漫館前(2,200円)
片道所要時間約3時間(交通機関のみ)

高速バス時刻表

平成17年9月30日現在

●高速バス時刻(下り・守谷駅西口～常陸大宮・大子)				●高速バス時刻(上り・大子・常陸大宮～守谷駅西口)					
守谷駅西口	7:50	11:00	15:10	18:40	茨城東北バス大子営業所	6:40	11:00	15:10	18:20
石岡	8:26	11:36	15:46	19:16	大子温泉やみぞ前	6:42	11:02	15:12	18:22
内原	8:41	11:51	16:01	19:31	大子自動車学校	6:47	11:07	15:17	18:27
那珂インター	8:53	12:03	16:13	19:43	思い出浪漫館前	6:54	11:14	15:24	18:34
鴻巣	8:58	12:08	16:18	19:48	水ぐるま前	7:22	11:42	15:52	19:02
総合センターらぼー	9:07	12:17	16:27	19:57	常陸大宮市総合保健センター	7:42	12:02	16:12	19:22
富士見台団地前	9:14	12:24	16:34	20:04	泉入口	7:46	12:06	16:16	19:26
泉入口	9:17	12:27	16:37	20:07	富士見台団地前	7:48	12:08	16:18	19:28
常陸大宮市総合保健センター	9:22	12:32	16:42	20:12	鴻巣	7:54	12:14	16:24	19:34
水ぐるま前	9:37	12:47	16:57	20:27	鴻巣	8:02	12:22	16:32	19:42
思い出浪漫館前	10:05	13:15	17:25	20:55	那珂インター	8:07	12:27	16:37	19:47
大子自動車学校	10:12	13:22	17:32	21:02	内原	8:19	12:39	16:49	19:59
大子温泉やみぞ前	10:17	13:27	17:37	21:07	石岡	8:34	12:54	17:04	20:14
茨城東北バス大子営業所	10:19	13:29	17:39	21:09	守谷駅西口	9:10	13:30	17:40	20:50

■大子町観光商工課 ☎02957(2)1111 ■関東鉄道水海道営業所 ☎0297(22)0452
■大子町観光協会 ☎02957(2)0285 ■茨城交通大子出張所 ☎02957(2)0428

DAIGO



紅葉が見事な三名瀑のひとつ〜袋田の滝

日光の華厳の滝、和歌山的那智の滝と並び日本三名瀑の一つで、高さ120m、幅73mの4段から落下することから、別名「四度の滝」と呼ばれています。滝の迫力を間近で体感するならば、276mのトンネルを抜けて観瀑台から眺めるのがお勧め。秋の紅葉、冬季は水結する水瀑が楽しめます。(思い出浪漫館下車1km、8時〜18時(11月〜4月は9時〜17時)見学自由、観瀑トンネル通行料300円)



久慈川清流のやな場〜奥久慈大子観光やな



5月から11月まで、久慈川に開設される観光やな。やなとは、竹を並べて川を塞ぎ止めて魚を捕る仕掛けのこと。シーズンには鮎のつかみどりをしたり、向かいの食堂で鮎の塩焼きをはじめ鮎料理が楽しめる場所です。(大子自動車学校下車0.3km、5月〜11月まで営業、期間中無休、☎02957(2)3487)

道の駅 奥久慈だご

地元の名産を揃えた国道118号線沿いに位置する道の駅です。1階は観光案内と特産品直売、2階は温泉浴場(11時〜18時・500円)になっています。大子の特産のひとつ地ビールも好評です。



■大子自動車学校下車0.6km、9時〜18時、第1・3水曜日定休(祝日の場合は翌日)、☎02957(2)6111

ちよつと寄り道〜八溝山展望台



県内最高峰の標高1022mを誇る八溝山。周辺はブナの原生林を懐にハイキングコースが設定されていて、展望台を巡ることが出来ます。昭和61年に完成した高さ16.5mの展望台(入場料100円)からは360度の眺望が楽しめます。近くには湧水群があり、福島・栃木の県境に位置します。(茨交東北バス大子営業所から茨交東北バス蛇穴バス下車6km)

街中の小さな美術館〜街かど美術館



4年前に銀行であった建物を美術館に改装したこの街かど美術館(柴清館長)。開館から来館者が2万人を超え、人気スポットになっています。館長は水戸と郡山には美術館があるが、その間の大子にもギャラリーをつくりたかった、といいます。県内出身の作家を中心に月替わりで作品展示が行われ、館長自らレクチャーしてくれ、お茶のサービスが受けられますよ。(大子自動車学校下車1km、9時〜18時、水・木曜日・12月28日〜1月5日休館、入館無料 ☎02957(2)0708)



木造校舎の温もりが懐かしい〜大子おやき学校



おやきと聞くと信州のイメージが強いですが、昔から地方各地の郷土食として親しまれている素朴な食べ物です。大子でも食されていましたが、食生活の変化から食べる機会が少なくなってきました。この大子おやき学校(大高芳文校長)では、大子の新鮮な野菜をはじめとする食材をおやきの具にして、現代風にアレンジしたおやきを製造しています。施設は廃校となった旧横野地小学校を改修再利用したもので、おやき体験(大人800円・小人500円)もでき、食堂では校長自ら打つ手打ち蕎麦は絶品です。(茨交東北バス大子営業所から6kmまたは常陸大子駅から茨交東北バス梨野沢ゆき20分 ☎02957(8)0500)



つくばセンター～水戸駅北口 水戸徳川家ゆかりの街を行く

高速・路線バス活用
～水戸エリア編～



秋葉原からつくばエクスプレスで45分、つくば駅前のバスターミナルから水戸駅北口にアクセスするバス路線「TMライナー」の運行本数が大幅に増便しました。水戸市は江戸時代に第2代藩主・光圀、第9代藩主・斉昭らに代表される水戸徳川家が治めていた城下町でゆかりの史跡が至るところに点在します。一方、黄門さまが日本で最初にラーメンを食べたとして、再現した水戸藩ラーメンも新たな水戸の名物となっています。

100種3000本の梅が咲き誇る 借楽園

徳川斉昭が1842年(天保13年)に自ら設計した庭園で、金沢の兼六園、岡山の後楽園と並び日本三名園の一つです。とりわけ梅のシーズンには多くの観光客で賑わう梅の名所です。斉昭の別荘として建てられた好文亭からの眺望は見事です。(TMライナー千波湖下車徒歩5分または水戸駅北口から関東鉄道バスで借楽園下車7時～18時(4月～9月15日は6時～19時)、入園無料、☎029(221)6570)



徳川ゆかりの遺品の集大成 徳川博物館

徳川家康の遺品や光圀をはじめとする歴代藩主、その家族ゆかりの武具・書画など約3万点を収蔵公開しているのがこの博物館です。大日本史の編纂のために収集した書類もあります。(TMライナーまたは水戸駅北口から関東鉄道バスで千波湖下車、10時～16時30分(土日祝日は17時)、月曜日休館、入館料Ⅱ常設展600円、企画展1000円、☎029(241)2721)



水戸の代表銘菓 水戸井熊總本家

水戸の代表銘菓として親しまれている「水戸の梅」。小林熊次郎氏が明治23年に創業し、水戸の梅、のし梅、梅羊羹をはじめとする和菓子を長年造り続けています。水戸の梅(4個入り366円)は明治時代に県令安田定則の奨めにより、先代が借楽園の梅を精選し造ったもので、白小豆餡を求肥で包み、蜜漬にした紫蘇の葉で包んだ絶品です。(9時～19時、年中無休(元旦を除く)、TMライナーまたは水戸駅北口からバスで南町三丁目下車、☎029(221)2605)



ここは水戸藩の藩校 弘道館

9代藩主・徳川斉昭によって1841年(天保12年)に開かれた水戸藩の藩校です。文学や医学、儒教、武道などの教育を行い、15代將軍・慶喜もここで学びました。周辺は弘道館公園として整備されています。(水戸駅北口から0.4km、9時～16時、入館料190円、年中無休)



●TMライナー時刻表上り(水戸駅始発)										●TMライナー時刻表下り(つくばセンター始発)																																																																																																																																																							
水戸駅北口	銀杏坂	南町三丁目	南町二丁目	大工町	常磐神社入口	千波湖	千波	泉町三丁目	泉町一丁目	黒字→関鉄	緑字→グリーン	つくばセンター	吾妻	花室交差点	土浦駅東口	土浦市民会館	土浦一高前	つくば国際大学	石岡	黒字→関鉄	緑字→グリーン																																																																																																																																												
7:10	8:50	10:10	12:30	13:50	15:10	17:20	18:20	19:40	6:40	8:00	9:30	11:50	13:10	15:10	16:20	17:40	19:20	6:41	8:01	9:31	11:51	13:11	15:11	16:21	17:41	19:21	6:42	8:02	9:32	11:52	13:12	15:12	16:22	17:42	19:22	7:00	8:20	9:45	12:05	13:25	15:25	16:35	17:55	19:35	7:05	8:25	9:50	12:10	13:30	15:30	16:40	18:00	19:40	7:07	8:27	9:52	12:12	13:32	15:32	16:42	18:02	19:42	7:10	8:30	9:55	12:15	13:35	15:35	16:45	18:05	19:45	7:20	8:40	10:05	12:25	13:45	15:45	16:55	18:15	19:55	8:00	9:20	10:45	13:05	14:25	16:25	17:35	18:55	20:35	8:30	9:50	11:10	13:30	14:50	16:50	18:00	19:20	21:00	7:24	9:04	10:24	12:44	14:04	15:24	17:34	18:34	19:54	7:30	9:10	10:30	12:50	14:10	15:30	17:40	18:40	20:00	7:32	9:12	10:32	12:52	14:12	15:32	17:42	18:42	20:02	7:34	9:14	10:34	12:54	14:14	15:34	17:44	18:44	20:04	7:57	9:37	10:57	13:17	14:37	15:57	18:07	19:07	20:27	8:30	10:10	11:30	13:50	15:10	16:30	18:40	19:40	21:00	8:50	10:30	11:50	14:10	15:30	16:50	19:00	20:00	21:20

●交通MEMO
高速バス東京駅～つくばセンター1,150円
TX秋葉原～つくば 1,150円
つくばセンター～水戸駅北口 1,000円
所要時間=約2時間30分(交通機関のみ)

■ 関東鉄道水戸営業所 ☎029(247)5111 ■ 水戸市観光課 ☎029(224)1111
■ 学園サービスセンター ☎029(852)5666 ■ 水戸観光協会 ☎029(224)0441



水戸納豆の原点がここにある 天狗納豆總本家笹沼五郎商店

納豆は全国的に水戸の代名詞として有名ですが、江戸時代から農家の非常食として納豆は食べられていました。水戸線開通を機に1889年(明治22年)水戸駅前で天狗納豆として販売されたのが、全国に水戸納豆を定着させたルートなのです。同店では、1階が売店で2階に納豆展示館が併設されて納豆の歴史から製造工程が理解できます。(水戸駅北口から0.3km)



銀行と貨幣を学ぶ 常陽史料館



常陽史料館は、県内の銀行の歴史から紙幣に関わる展示を通して楽しく学べます。地下の常設展示室では札束(1億円)を持てるスペースがあり、至福の一時を体感できます。また、アートスポットでは定期的に企画展示が催されている住宅街のお薦めスポットです。(TMライナーまたは水戸駅北口からバスで泉町一丁目下車徒歩7分、10時~17時45分(常設展示室は17時)、月曜日休館(8月第2日曜日とその翌々日の火曜日、12月第1日曜日、年末年始12月29日~1月4日)、入館無料、☎029(228)1781)

茨城の歴史を探索 茨城県立歴史館



茨城の歴史の集大成と言えるこの歴史館は、1974年(昭和49年)にオープンした県立の施設で、本館1階は12代当主・徳川宗敬により県に寄贈された約6千点に及ぶ伝世の資料を年6回のテーマで展示した一橋徳川家記念室をはじめ、新たに県内で発見された話題性を重視したテーマ展示、2階の原始から近現代に至る歴史経過が理解できるスペースです。野外施設には県指定文化財の旧水海道小学校本館、旧茂木家住宅が移築され静態保存されています。(TMライナーまたは水戸駅北口からバスで常磐神社入口下車1km、9時30分~17時(入館は16時30分まで)、月曜日休館(12月29日~1月1日)、入館料150円、☎029(225)4425)

壮麗な佇まいを持つ 薬王院



桓武天皇の勅願により天台宗の宗祖である伝教大師が延暦年間(782~804年)に創建されたものです。大永7年(1527年)に本堂が焼失しましたが、享禄2年(1529年)に領主・江戸道泰の援助により再建されました。唐様の要素が濃く、桁行7間、梁間5間の大規模な仏堂で、国指定重要文化財となっています。(水戸駅南口から1.5km、関東鉄道バスで薬王院前下車)

徳川時代からの飲料水 笠原水道

逆川緑地に位置する笠原水源竜頭共用栓の湧水は、徳川時代から飲料水として利用されてきました。この共用栓は、明治時代の改修時に下市地区の街角に設置されていたものを復元し、湧水を飲料水としたものです。(水戸駅南口から2km、または関東鉄道バス荒谷入口下車)

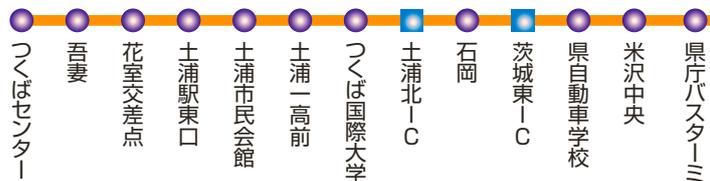
装飾が美しい 給水塔



この給水塔は、昭和7年に水戸市街の低地部に給水を行うため建てられたもので、水道技師である後藤鶴松の設計、高砂鉄工により施工されたものです。2階塔屋部の浮彫彫刻、1階入り口の装飾など貴重な歴史的建造物として水戸のスポットになっています。(水戸駅北口から0.8km、見学自由)



TMライナー運行系統略図



※つくばセンター~つくば国際大学停留所間から石岡・水戸方面は、乗車専用となります。
※水戸駅北口~県自動車学校バス停留所間から石岡・土浦・つくば方面は、乗車専用となります。
※石岡バス停留所は、水戸方面・つくば方面とも乗降扱い停留所となります。

最初にラーメンを食べた黄門様 水戸藩ラーメン



日本で中国麺が定着したのは、明治の半ばと言われています。しかし、さかのぼって300余年前に口にしたのが、水戸の黄門様だったのです。1665年に儒学に熱心だった光圀が、長崎に亡命していた明国の儒学者「朱舜水」を水戸藩に招き、製法を教授したのです。麺素材の中で、記されていた「藕粉(グーファン・蓮根の澱粉)」から、地元の川崎製麺所(川崎・男社長)が文献を基に麺を再現したのが「水戸藩ラーメン」なのです。のぼりがある市内の7店舗でこのラーメンが食べられます。(川崎製麺所・☎029(269)3878)

つくばセンター～真壁・岩瀬

蔵造りの街並みを歩く真壁



急行路線バス活用

～真壁・岩瀬エリア編～



椎の森に建つ古刹

筑紫湖から山道を入り高台に薬王院があります。樹齢400年を超える椎の木々に囲まれた椎尾山中に位置し、783年(延



野鳥が飛来する水辺のオアシス

この湖は人工湖で、周辺の農業・飲料水を供給するため、何と霞ヶ浦と坑道で結ばれています。様々な野鳥が休息する水辺のオアシスで、湖岸を歩けるちよつとしたレイクスポットとなっています。湖畔のつくし亭では手打ち蕎麦が評判で、隣の農産物直売所は周辺農家が育てた自慢の新鮮野菜が手に入ります。(椎尾下車2km)

つくばセンターから真壁・岩瀬にアクセスする急行バスが新規に運行しました。真壁は、平安時代末期に真壁氏が城を築き、江戸時代には笠間藩の陣屋支配を受けるまで430年間この地を治めました。市街には歴史を偲ぼせる200棟を超える建造物が登録文化財に指定され、近年ではひなまつりやお菓子の町としても来町者を楽しませてくれます。ちよつと足を延ばして雨引観音、岩瀬の街も訪れたい場所です。



真壁周辺は焼き物創作に適した土が手に入ることは、古代から土器や土偶を作っていた窯跡からも理解できます。西浦製陶さんは、100年を超える素焼きの製造業者で、ログハウスの店舗には小物から大きな埴輪までオリジナル作品が並びます。一方で、博物館からの依頼で出土品の複製も手掛けるなど、その作品群に圧倒されてしまいます。自ら作品を創作できる陶芸教室(1000円・土2kg分)もできます。(椎尾下車0.4km、9時～17時、☎0296(55)0283)

埴輪の群れに目移り



暦元年(1550年)に開山されました。1550年(天文19年)に焼失したものの、堂塔は1666年(寛文6年)から40年かけて再建されました。(椎尾下車2.5km、☎0296(55)4319)

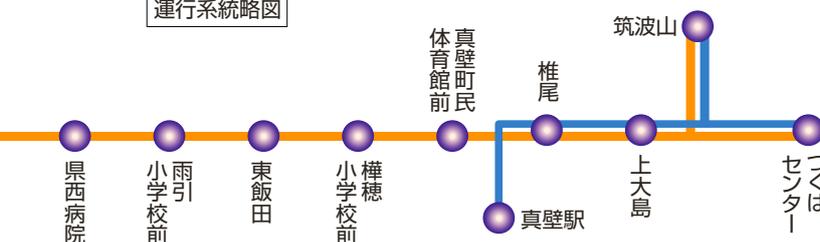
バス時刻表

【平日】										
岩瀬町中央公民館	真壁町民体育館	真壁駅	筑波山	つくばセンター	つくばセンター	筑波山	真壁駅	真壁町民体育館	岩瀬町中央公民館	
6:00	6:17		6:35	7:05	7:15	7:40		7:57	8:20	
6:55	7:12		7:30	8:00	8:40	9:05		9:22	9:45	
8:35	8:52		9:10	9:40	11:05	11:30		11:47	12:10	
10:00	10:17		10:35	11:05	*12:05	12:30	12:50			
			14:10	14:40	*16:35	17:00	17:20			
16:30	16:47		17:05	17:35	*17:50	18:15	18:35			
			*18:20	18:35	19:30	19:55		20:12	20:35	
			*19:50	20:05	20:50	21:15		21:32	21:55	
【土休日】										
岩瀬町中央公民館	真壁町民体育館	真壁駅	筑波山	つくばセンター	つくばセンター	筑波山	真壁駅	真壁町民体育館	岩瀬町中央公民館	
7:00	7:17		7:35	8:05	8:25	8:50		9:07	9:30	
7:55	8:12		8:30	9:00	9:30	9:55	10:15			
9:40	9:57		10:15	10:45	*11:50	12:15	12:35			
			11:35	12:20	*13:50	14:15	14:35			
			*14:10	14:55	*15:15	15:40	16:00			
			15:20	16:05	16:25	16:50		17:07	17:30	
			*17:25	17:40	18:40	19:05		19:22	19:45	
18:00	18:17		18:35	19:05	19:40	20:05		20:22	20:45	

*印→真壁駅にて一般路線バス接続

平成17年9月30日現在

運行系統略図



交通MEMO

- 高速バス東京駅～つくばセンター 1,150円
- つくばセンター～真壁駅 800円
- TX秋葉原～つくば 1,150円
- つくばセンター～岩瀬町中央公民館 1,000円
- 真壁町商工課 ☎0296(55)1111
- 学園サービスセンター ☎029(852)5666
- 関鉄グリーンバス石岡営業所 ☎0299(22)3384
- 柿岡営業所 ☎0299(43)1161

真壁平四郎ゆかりの寺 伝正寺

1268年
(文永5年)
に真壁城主で
ある真壁安芸
守時幹公によ
り法身国師・
真壁平四郎の
ために開山し
ました。



350年間
は照明寺とし
て臨済宗の寺
でしたが、1456年(康正2年)に曹洞宗
に改宗し、8代住職・良雄大圓和尚の時代
に真壁藩主・浅野長政公の菩薩寺と定め現
寺名に改称したものです。(真壁町民体
育館前下車1km 参拝自由、☎0296(5)
1266)

装飾社殿が美しい 八柱神社

京都嵯峨の大覚寺の末寺であった金剛
院が明治初期に廃寺となり、聖天堂(しょ
うでんどう)としてこの神社(真指定文化財)
の本殿となりました。壁面を彩る巧みな
装飾彫刻は、
日光の陽明門
を思わせる豪
華さに圧倒さ
れることでしょう。
町指定樹木の
境内には樹齢
500年の榎が
そびえています。
(真壁駅下車1
km 参拝自由)



800年の息吹が梵鐘に託される 小田部鑄造

小田部家は河内国(大阪府)から鎌倉幕
府の新興武家政治の兵備の端を担ったの
が800年前の建久年間(1190)に溯ります。鑄造
に適した砂と粘土を筑波山麓に発見し真
壁に居を定め、幕末期には黒船撃退の大砲
の鑄造も行っていたと言います。伝統工法
を守り、今では関東唯一の梵鐘・半鐘・天水
鉢の製造元で、主屋・門・土蔵は登録文化
財に指定されています。風鈴のミニチュア梵
鐘(2000円)もあります。(真壁駅下車
0.9km、☎0296(55)0066)



石蔵を利用した布のギャラリー 蔵布都(くらふと)



造り酒屋の石蔵を
利用し、全国の布を
集めて展示している
染織工芸サロンです。
(真壁駅下車0.4km、
10時~18時、水曜日
休館、☎0296(55)
1092)

旧郵便局は情報発信地 旧真壁郵便局

昭和2年に国立第五十銀行真壁支店と
して建てられ、31年から61年まで、真壁郵便
局として使用されてきました。石貼りの外
壁は街を象徴する近代建築として親しま
れ、窓口が今なお残る、街の情報発信地と
なっています。(真壁駅下車0.5km、入館
無料)



霊験あらたかな名刹 雨引観音(雨引山薬法寺)



587年
(用明天皇
2年)、梁の
国人・法輪
独守居士に
より開かれ、
延命観世音
菩薩(国指
定重要文化
財)を本尊
とする坂東
観音霊場第
24番札所の
名刹です。厄除け、延命、安産、子育ての観
音様で、鎌倉幕府の宗尊親王、足利尊氏、
また徳川家康、吉宗が信仰し寺領、堂塔を
寄進しました。(雨引小学校前下車1.8
km 参拝自由)

自然の恵み収穫する楽しさ こだわり畑

岩瀬町に位置す
るこだわり畑には、
季節のとれたて農
産物を提供する直
売店があり、裏手の
農場ではマスクメロ
ン狩りやイチゴの食
べ放題ができます。
ギリギリまで熟した糖度14度以上の甘さが
自慢。家族連れで楽しめるスポットです。(岩
瀬駅下車5.5km、9時~17時、お盆・年末
年始定休、☎0296(57)2956)



お菓子を 町をPR

町内11の菓子店舗が集
まる真壁菓子商組合では、
菓子工房の町として各店自
慢のお菓子を町をPRして
います。「御菓子処さとう」
さんの真壁太鼓は羽二重餅
を栗餡で包んだ、どら焼
(115円)が人気で、ご主人
は創作菓子も手掛けていま
す。また、「高庭菓子店」で
は2002年に地元小学生が考案した「ゆめまん」も
あり、真壁の銘菓に出会えます。
■御菓子処さとう=真壁駅下車1.8km、8時30分
~19時30分、7の付く日定休日、☎0296(55)1107
■高庭菓子店=真壁駅下車0.1km、8時~19時
30分、7の付く日定休日、☎0296(55)0268



将門終焉の地を訪ねて

急行路線バス活用

～岩井・猿島エリア編～



岩井は平安中期の武将・平将門本拠地としてゆかりの史跡が多く、毎年11月第2日曜日には将門まつりが盛大に行われます。足を延ばして猿島を訪れると後北条氏の城であった逆井城が復元され戦国時代の相貌を感じ取ることができます。岩井・猿島へは、守谷駅西口から新規路線の急行バス(ぼんご号)がアクセスしています。

見て体験して学ぶ 茨城県自然博物館

地球の生い立ちから、自然・生命の仕組み、人と環境など5つのテーマで構成された参加体験型の博物館で、白亜期最大級の巨大恐竜やマンモスの複製骨格など迫力ある展示物もありません。自然環境保全地域である菅生沼の西岸に位置し、冬には越冬するコハクチョウの乱舞が見られます。(自然博物館下車、9時30分～17時、月曜日休館、入館料11520円(企画展時720円)、☎0297(38)2000)



将門が眠る古刹 延命院

940年(天慶3年)2月14日の夕、将門は戦いに敗れ本陣に帰る途中、矢に射られ38歳の生涯を閉じました。首は京都に送られた後、武蔵国柴崎村に葬られ、胴体はこの境内の一角に埋められました。かつて



は壮大な七堂伽藍があったが焼失し、今は観音堂と不動堂が残るのみとなっています。(辺田三叉路下車1.2km、参拝自由)

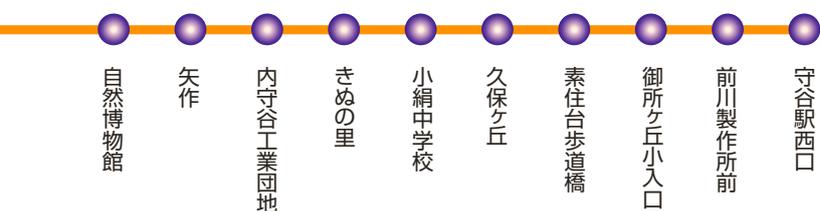


将門の三女が創建した 國王神社

平将門の三女・如藏尼(にょうざうに)が972年(天禄3年)に創建したものです。ご神体は、衣冠束帯姿の将門の寄木造座像で、如藏尼が父の33回忌に菩薩を刻んだものと伝えられ、拜殿・本殿ともに県指定文化財となっています。(岩井下車1.2km、参拝自由)



運行系統略図



バス時刻表

●守谷駅西口発→岩井・猿島	●自然博物館発→守谷駅西口
7:10 8:10 9:10 10:40 13:00	6:31 7:21 8:31 10:01 11:31
14:30 16:00 17:30 18:30	12:31 15:21 16:51 17:51
20:00 21:05 22:05	19:21 20:21 21:21
青字=岩井止まり	
●岩井発→守谷駅西口	●猿島発→守谷駅西口
6:20 7:10 8:20 9:50 11:20	6:00 6:50 9:30 11:00 14:50
12:20 15:10 16:40 17:40	16:20 18:50 19:50
19:10 20:10 21:10	
赤字=は岩井始発	
●交通MEMO	
TX秋葉原～守谷 800円	
守谷駅西口～自然博物館 500円	
守谷駅西口～岩井 700円	
守谷駅西口～猿島 1,000円	

■坂東市観光協会 ☎0297(20)8666
■関東鉄道水海道営業所 ☎0297(22)0452

平成17年9月30日現在

武者行列が街を練り歩く 将門まつり

毎年11月第2日曜日に行われる岩井の将門まつりは、神田明神将門太鼓の勇壮な響きの中、総勢70余名の武者が國王神社の参道を進むことからスタートします。武者行列の、武将・皇族・文官・女武者・郎党・姫や稚児行列が市内の商店街を練り歩きます。古式豊かさを体感できる祭りです。



バス終点猿島の郷土館 さしま郷土館ミュージーズ

終点、猿島を降りたら猿島支所に隣接する高台に位置する、さしま郷土館ミュージーズ。図書館と資料館が融合した施設で、6万7千冊の書籍と5千本のビデオソフトが収められ、視聴することができます。資料館には2つの展示室があり、歴史文化と沓掛(くつかけ)出身の洋画家・五姓田芳柳(こせたほうりゅう)二世の作品を中心に美術品を所蔵しています。また、館内の観測ドームには最新



式の20cmワイド式天体望遠鏡を備え、定期的な観測を行っています。(終点・猿島下車0.2km、10時~18時、月曜・月末・年末年始休館入館無料 ☎0280(88)8700)



戦国時代へタイムスリップ 逆井城跡公園

戦国時代末期、1577年(天正5年)に後北条氏の北関東進出の拠点として築城された逆井城。玉縄城(神奈川)主であった北条氏繁は、藤沢から城を造るため大鋸引(おがびき)職人を呼び造らせ、1590年(天正18年)に豊臣秀吉が小田原城の後北条氏を滅ぼしたため、逆井城も廃城となりました。発掘調査によって、櫓門、橋、堀、主殿、二層櫓などが復元され公園となっています。(終点・猿島下車4.5km、入園自由、☎0280(88)7766)



香り豊かでコクのある、 さしま茶

さしま茶のブランドは全国規模となりましたが、猿島でお茶の栽培が始まったのが江戸時代前期にさかのぼります。農作物を特有の空風から守るために、畑の境界にお茶を植えたのが始まりでした。しかし、明治時代に入ると、粗悪品や偽り茶が出回り、さしま茶の評判が悪くなった時期があったようです。そこで、市内沓掛の倉持三右衛門が20年以上も品種改良の研究に従事し、寒冷地での品質に適した晩生種の開発に成功し、今日の猿島ブランドを築き上げたのです。茶摘み～生葉～茶葉蒸し～精揉～乾燥の行程を経たさしま茶は香りが強く、コクがあると評判の特産品なのです。



- 猿島
- 沓掛
- 弓田
- 岩井
- 本町
- 岩井局前
- 原口
- 辺田香取神社前
- 辺田三叉路
- 中里



常総線快速停車駅から行ける お薦めスポット

鉄道活用
快速列車
運行開始

取手～下館間51.1kmを結び常総線に快速列車がデビューしました。

列車は守谷～下館間が快速運転区間で、水海道・石下・下妻に停車し終点の下館に至ります。守谷～下館間を45分で結び、上りの朝3本、下りの夕3本に快速列車を設定しています。今回は、石下・下妻・下館から行ける名物やスポットを紹介しましょう。土日・祝日には全線1日乗り放題「常総線1日フリーきっぷ」が便利でおトクです。併せて、つくばエクスプレスとの往復割引きっぷもありますので有効活用して下さい。



**現代に生きる浮世絵芸術
渡辺木版**

江戸時代、浮き世の風俗をテーマに一流派した浮世絵。17世紀後半、菱川師宣によって大成し、芝居・遊里・相撲など町人階級の好んだ風俗や似顔絵・風景などを描きました。肉質画と版画があり、喜多川歌麿、東洲斎写楽、安藤広重、葛飾北斎などが有名です。浅草など観光地では絵葉書が江戸のお土産として庶民に広まりました。渡辺木版は、江戸時代のそのままの工法で浮世絵手摺木版画を製作し、石下町無形文化財として伝統技術を今に伝えています。彫り師と摺り師が丹念に1枚1枚仕上げた作品には、過去の有名作家の作品も息吹を注ぎ込まれて現代に息づいています。工房の2階がギャラリーになっていて作品を鑑賞し購入できます。(石下駅から0.8km、8時30分～17時30分、日曜日定休、☎0297(42)2337)



多賀谷城本丸跡

多賀谷氏は、初代・氏家が現在の城跡公園の角に本丸を構え、隣国の豪族を攻めて勢力下に置いた他、小田原北条氏政勢の来襲を撃退するなど、7代に亘り147年間下妻城主として常総地方に栄えていました。1600年(慶長5年)関ヶ原の戦いが起き、7代・重経は佐竹氏とともに西軍に心を寄せ徳川家康の誘いにも出陣せず、憎まれ城主追放・城破却となり当地を去りました。行く末を案じた奥方、姫、女中たちはある者は懐剣で喉を突き、また館沼に身を投げたのです。領民たちがこれを哀れみ、遺体を合葬したのが美女塚となりました。下妻駅から0.3km、入園自由)



快速列車時刻表

●下り			●上り		
取手 発	18:22	19:09	19:54	下館 発	5:58 6:48 7:37
守谷 発	18:40	19:26	20:11	下妻 発	6:14 7:05 7:53
水海道 発	18:49	19:36	20:19	石下 発	6:23 7:13 8:02
石下 発	19:02	19:49	20:32	水海道 発	6:36 7:27 8:16
下妻 発	19:12	20:00	20:41	守谷 発	6:46 7:35 8:24
下館 着	19:27	20:15	20:57	取手 着	7:06 7:54 8:44

平成17年9月30日現在

快速停車駅



■石下町産業振興課 ☎0297(42)3111

■下妻市商工観光課 ☎0296(43)2111

**鎌倉時代の作風を示す
金林寺・木造仏涅槃像(ねはん)像**

仏様の誕生彫刻は数あれど、涅槃像の遺品は少ないものです。しかし、常総線沿線には寺原(取手市)の法海寺とこの2体があることは貴重なことです。112.1cmの涅槃像は、檜の寄木造で、自然な掘り出しとともに写実的なもの。涅槃像の中でも、鎌倉時代に溯るものは全国でも少ない注目すべき遺品です。(下妻駅から0.5km 参拝自由)



「鉄道・高速バス活用」マップ

路線図

- 守谷駅西口～常陸大宮～大子
- 〈TMライナー〉 つくばセンター～土浦駅東口～石岡～水戸駅北口
- つくばセンター～筑波山～真壁駅～岩瀬駅～岩瀬町中央公民館
- 守谷駅西口～岩井～猿島
- 東京駅～つくばセンター



鉄道の日イベント情報

今年も鉄道の日イベントを行います。
 関東鉄道では11月5日、鹿島鉄道では
 11月19日(予定)です。
 詳しくはホームページを御覧下さい。



次号は2006年3月発行



Q 常総線・守谷～下館間で快速列車の停車駅は守谷、水海道、下妻、下館とあと1駅はどの駅でしょうか?

- A. 新守谷駅 B. 石下駅 C. 大宝駅

正解者の方から抽選で5名様に「鹿島鉄道オリジナルデスクトップカレンダー2006」に「常総線・街歩きガイド」を添えてプレゼント致します。官製はがきに①クイズの答え、②住所・氏名・年齢・職業、③本誌を手にした場所、④本誌への感想や取り上げて欲しい内容等、ご意見を添えてご応募下さい(締切りは11月末日消印有効)。なお入手した個人情報は弊社編集部が厳重に管理し、外部への持ち出しは致しません。当選発表は当選者ご本人への商品発送を以てかえさせていただきます。

〒300-8555 土浦市真鍋1-10-8 関東鉄道(株)企画課内
 POCKET編集部プレゼント係まで

※前号の答え…正解はCでした。多くのご応募ありがとうございました。

関東鉄道コミュニケーションガイド 関鉄POCKET 2005 Vol.8

発行 **関東鉄道株式会社** 総務部企画課
 TEL029-822-3710 FAX029-823-5834

re100 古紙配合率100%再生紙(エコマーク取得)を使用しています

POCKET ポケットメイト募集～ 編集部から 貴方が沿線を紹介して下さい。

編集部では、一緒に旅してくれる本誌女性モデルを募集しております。お友達と2人でも結構です。簡単な履歴、顔写真を添えて編集部までご応募下さい。追ってご連絡差し上げます。採用の方には、記念品を贈呈致します。

また、編集部では皆様の幅広い情報をお待ちしております。身近な話題からお店の紹介、多くの方にお知らせしたいことなどお寄せ下さい。なお、関東鉄道の情報はインターネットでもご覧になれます。
<http://www.kantetsu.co.jp/>

本誌への広告掲載のご案内

地域密着型の本誌は当社各駅、バスターミナル案内所、行政関係各所、東京の観光アンテナショップ、京成電鉄、新京成電鉄各駅に設置されたフリーペーパーとして発行しております。お店や企業のPRツールとして本誌への広告掲載のお申し込みは総務部企画課までお願いします。媒体資料を用意しております。

- 表紙/西浦製陶(真壁町)にて
- 撮影/Yoshiyuki Jumonji

関鉄Pocketは関東鉄道の登録商標です